

平成 28 年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成 29 年 3 月 24 日

研究・研修課題名	救急撮影認定技師資格の更新（外傷センター）
研究・研修組織名（所属）	放射線部 金山秀和
研究・研修責任者名（所属）	金山秀和
共同研究・研修者名（所属）	

目的及び方法、成果の内容

①目 的（800字程度）

救急撮影認定技師資格更新のための単位取得研修。

《救急撮影認定技師の役割》

- (1) 救急診療において、各種画像検査を適切に実施すること
- (2) 救急医療を行うチームの中で、放射線診療の専門的な知識と技術を高め普及し、円滑に業務が遂行されるように努めること
- (3) 救急医療における放射線診療の安全を確保し実施すること
- (4) 救急診療において、科学的根拠に基づく放射線診療のあり方を理解し画像情報を提供すること
- (5) 救急診療に用いる医療情報を正しく管理し、運用することが出来ること
- (6) 救急診療における画像診断機器、および関連器具等の品質を保証し管理を行うこと
- (7) 各種の感染や中毒など、救急診療の危険性を理解し安全な診療を担保できること

《資格更新の条件》

- (1) 更新申請時において、救急撮影認定技師であること。
- (2) 更新申請時、過去 5 年間に於いて、別表単位表から救急撮影認定技師では 30 単位を取得していること。
- (3) 更新申請時、過去 5 年間に構成 4 団体のいずれかの全国規模の学術大会に 1 回以上出席していること。
第 72 回日本放射線技術学会総会・学術大会以降の web 参加では、課題レポートを 3 題提出すること。
演題の選択は、救急医療に用いられるモダリティに関するものが望ましい。
- (4) 更新申請時において、過去 5 年間に本機構が主催する講習会に 1 回以上参加していること。

②方 法（800字程度）

《資格更新の条件》の（3）過去5年間に構成4団体のいずれかの全国規模の学術大会に1回以上出席していることを満たすため、日本診療放射線技師会主催の第32回日本診療放射線技師学術大会に発表・出席した。

第32回日本診療放射線技師学術大会

日時：2016.9.16～19

場所：岐阜県岐阜市

発表：死後画像撮影を業務とする診療放射線技師の実態

③成 果（データ等の図表を入れて2000字程度）

日本診療放射線技師会主催の第32回日本診療放射線技師学術大会に発表・出席した。
今後も、救急撮影認定技師資格更新のため研鑽を続ける。